

目的

母子保健の主要な取り組みである「健やか親子 21」の推進において、特に課題とされた思春期保健対策の強化を図る。

本市における取組と課題

取組

<行政・学校>

- おやこ性教育教室
- 性・生教育セミナー
- 思春期健康相談
- エイズ・性感染症予防教室
- 学校保健と地域保健との連携
- 学校教育における保健学習の推進 など

<関係機関>

- 医療機関、NPO 等による講話
- いわき思春期サポーターの会、ぴあっこによる講話やピア活動
- 家庭教育インストラクターいわき会による講話 など

課題

本市における 10 代の人工妊娠中絶は、減少傾向にあるものの、依然として国より高い状態が続いている。また、10 代の妊娠・出産、望まない妊娠、母児共にリスクとなる飛び込み出産が課題となっている。

これまで、思春期保健に携わる関係機関が様々な取組を行ってきたが、実際の本市の現状と課題を明らかにし、関係者の連携のもと、効果的な対策を講じることにより、子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりを推進する必要がある。

そのため、いのちを育む教育を推進するため、関係機関で一堂に会して、情報交換、関係機関の連携等を図っていく必要がある。

事業概要

多様化する思春期保健の課題に対応するため、H28 年度より関係機関で「いのちを育む教育推進協議会」を組織し、本市の思春期保健の課題を明らかにしながら、生命の尊さや性に関する正しい知識の普及啓発等、子どもたちの健やかな成長を支援する「命を育む教育」の推進を図る。

いのちを育む教育推進協議会

目的	本市の思春期保健に携わる関係者の情報交換や学習活動、ネットワークの強化を通して、教育・保健・医療・福祉が連携して子どもたちの健やかな成長を支援する活動の推進を目的とする。
構成員	学識経験者、いわき市小学校長会、いわき市中学校長会、福島県高等学校長協会いわき支部、いわき市 PTA 連絡協議会、いわき医師会、福島県助産師会いわき会、家庭教育インストラクターいわき会、いわき市民生児童委員協議会、福島県教育庁いわき教育事務所、市保健福祉部、市こどもみらい部、市教育委員会
開催	毎年度の事業計画と年度末の事業評価のため、年 2～3 回程度、必要に応じて開催

※アドバイザーとして、東京医療保健大学の渡會睦子准教授を委嘱。

検討事項 1 「いのちを育む教育」を推進するための指針づくりの検討

- (1) 本市の目指す姿
- (2) 指針の位置づけ、視点等
- (3) 家庭・教育・医療・保健・地域における役割

検討事項 2 「いのちを育む教育」の推進を図るための計画作成・評価

- (1) 実態把握、ニーズ調査、統計分析
- (2) 活動計画及び評価

検討事項 3 思春期保健に関する基盤整備

- (1) 関係機関の情報交換、情報共有による連携及び協力の推進
- (2) 家庭・教育・医療・保健・地域のネットワークの構築と強化
- (3) 活動推進のための方策の検討
- (4) 広報、情報発信

【平成 29 年度】

年 3 回協議会を開催し、『「いのちを育む教育」の指針』を作成する予定。